

仏心寺・チルドレン・スクール



ようやく仏心寺のニュース Vol. 9をお届けすることができます。2000年（平成12年）12月31日に仏心寺の落慶法要、2003年（平成15年）仏像（ご本尊）の開眼法要を開催し、2004年（平成16年）にはチルドレンスクール（CHILDREN SCHOOL）の開設と活動してまいりました。ここ2、3年はこれといった活動ができていませんでしたが、チルドレンスクールの活動を支援し、子どもたちがより良い環境で教育を受けられるよう援助していこうと思います。



ブダガヤでは近年、世界遺産バブルとでもいった状況で、新しいホテルも沢山できたようです。そんな中、仏心寺を管理してくれているオーム・プラサド氏から、チルドレンスクール（CHILDREN SCHOOL）を開設してくれないかとの提案がありました。施食や医療の事業に、その場限りという感を強く抱いていた私達にとって、未来につないでゆく子供達の教育こそ本来の事業と、早速各理事に承諾を得て進めていただくようお願いをしました。



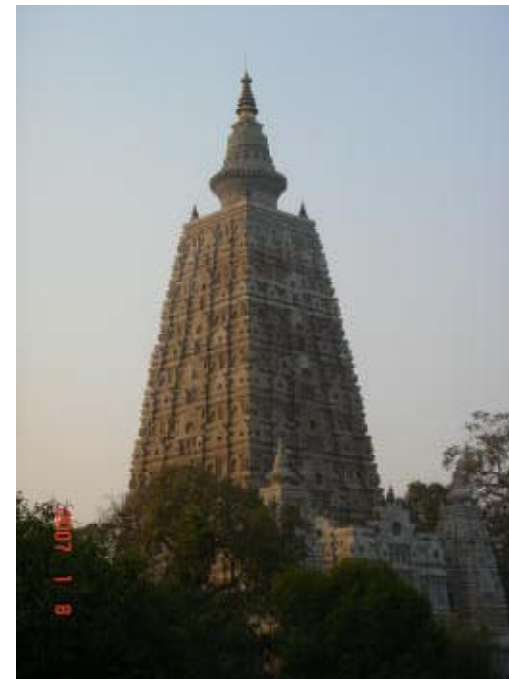
2007年（平成19年）1月に現地を視察し、活動の状況や子ども達の様子が届きました。先生は一人で、人数は50人程度、年令は小学校に上がる前の子供達を対象（少し大きい子もいますが）に、本堂と宿坊の間の庭を教室として行われています。日差しの強い日や雨の日はロビーにカーペットをひいて授業をしています。

今後も、私たちに課せられた問題はたくさんあるのですが、にこやかに笑っている子供達の顔を見ますと、（日本では当たり前になり教育を受けられる喜びを忘れてしまっている私たちですが）一つひとつ問題を解決し継続事業となっていくようにしたいと思っています。



チルドレンスクールを視察視察して

福井県福井市 窪加藤光



大塔（マハーボーディ寺院）

今年の1月にブダガヤ仏心寺のチルドレンスクールの現状を把握すべく、2泊3日という強行スケジュールでインドに飛んだ。インドでは一部の子供たちだけが学校に通うことができ、数えきれない子供たちが、食べるだけで精一杯の生活を送っている。チルドレンスクールはそんな子供たちが無料で勉強できる学校である。

朝9時半、子供たちが続々登校してきた。学校指定色のオーダーメイド制服を着て、慣れた手つきで中庭にカーペットを敷く、青空授業。子供の年齢は様々。〈自分の年齢も、みんな分かっている。〉10時、授業の前に弁天さんにお祈りをささげ、3クラスに分かれてヒンディー語、英語、数学、科学、一般教養の授業が始まっていく。

私は旅の目的である現状を記録するため、子供たちにビデオを向けた。すると子供たちは一斉にこちらを向き、好奇心いっぱいの笑顔を投げかける。その子供たちの表情は、素朴で純粋でかわいい。



仏心寺全景

生まれてから成長する過程で、その国の文化や風習を吸収して性格が形成されていくけれど、日本の子供もインドの子供も基本は一緒「人類みな兄弟」。そんなかわいい子供たちに、勉強する機会を与え、そして将来の夢を持たせてあげる事ができるチルドレンスクール。世界への大きな一歩が始まる。



御本尊の釈迦如来像



弁天さま



トラベルサライでは「インド仏跡巡拝の旅」を専門にアジア各地の仏教遺跡にご案内いたしております。

気軽にご相談下さい。

50120-408-128

